

メインテーマ・サブタイトル決定

第50回国保地域医療学会実行委員会



第50回国保地域医療学会実行委員会は4月29日(水)、府国保連合会で開かれた。開会にあたり、奥田委員長は来年の学会開催に向けて早急に委員会の開催が必要であったと述べ、メインテーマ及び特別講演・市民公開講座の講師決定について協議をお願いしたいと挨拶した。

協議に入り、第50回国保地域医療学会開催概要(案)について説明し、承認された。

メインテーマ及びサブタイトルについては、実行委員会に先立ち開催された学術部会で候補がそれぞれ3つ挙げられた中で、メインテーマ「悠久の都で地域包括医療・ケアの真髄を究める」、サブタイトル「～思いやりの心 京から発信～」に決定し、京都案として全国国保診療施設協議会へ提案することとなった。

特別講演の講師の候補として京都にゆかりのある方3名が、また市民公開講座の講師も京都にゆかりのある方でスポーツ関係者4名の候補が挙げられ、事務局より各候補者との調整を順次行うこととした。